

岩手県 軽米町議会

議会だより

かるまい

No. 241

令和7年5月14日発行

主な内容



特集「3月定例会のポイント」

令和7年度当初予算



3月定例会 一般質問に8人登壇

13



3月定例会 採決結果

22



インタビュー「かるまい町に住んでみて」

24

今回の表紙は
軽米町ふるさと大使
神久保 翔也さん

3月8日に宇漢米館で開催された
軽米町 Sweets Festa! で甘党男子の
ミニライブが行われた際の一枚です。

3月定例会 ここが

令和7年度予算及び
条例改正を可決

議案30件すべて可決

3月定例会（第14回定例会）が、2月27日から3月13日までの15日間の会期で開かれました。同意案12件、補正予算4件、令和7年度一般会計予算など提案された議案30件すべてを可決しました。今回の特集では人口減少・少子化対策調査特別委員会で提言した7項目について令和7年度当初予算について取り上げます。



若者住宅の整備と

移住定住への取り組み

萩田地区にある旧青少年ホーム跡地に若者住宅の整備を進めます。そのため、令和7年度予算として住宅整備関係予算を一般会計

が登録がない状況にあります。リフォームの支援、家財の処分等に関する補助制度のPRも併せて進めていく必要があります。

当初予算に計上していただきます。

若者住宅のほかにも今後増加していく空き家対策を兼ねた、空き家売りたい・貸したい所有者と、買いたい・借りたい希望者の橋渡しとして、空き家バンクの登録を推進しているが、現状ではなかなか

また、移住定住の推進に向けて、移住コーディネーターを配置し、移住・定住検討者向けの問い合わせへの回答や、かるまい暮らしガイドブックの作成、情報発信のためのウェブサイトを、SNSを活用して情報発信を行っている。



令和7年度の 新規事業・取り組み

音更町との姉妹町締結

40周年記念事業

音更町との姉妹町締結40周年を迎え、これまでスポーツや文化活動、小学校児童による相互訪問など、様々な分野で交流が展開されてきました。

40周年の記念事業を
実施するための予算を
計上しています。



雪谷川ダムフォリス
トパーク・軽米の軽米
メモリアルブリッジの
改修工事が予定されて
います。

軽米メモリアルブリ
ツジの床版が経年劣化
してきたため、安全に
使用できるように改修
するものです。

次ページでは12月定例会にて人口減少・少子化対策調査特別委員会で要望した7つの提言に関する令和7年度の取り組み状況をご紹介します。

④閉校校舎や遊休施設等の活用を図り、雨天や冬期間など天候に左右されない屋内型遊び場の整備を検討すること。

検討中

町内からも公園が欲しいとの声が上がっており、公園としての役割も含めた、天候に左右されない屋内型の遊び場を視野に入れ検討している。



議員管外視察で訪れた長野市の屋外型遊び場

⑤軽米高校の生徒確保の観点から、制服購入の補助を積極的に進め、生徒募集へつながる情報発信を早めに行うこと。

令和7年度から実施

岩手県立軽米高等学校教育振興会事業費補助金にて令和7年度から新しくなった制服の購入の助成を行う。

補助の対象となるのは制服1式分となっており、2着目以降は自己負担となる。



新しい制服に身を包む令和7年度新入学生

⑥宮城県仙台市周辺在住の軽米町出身者による（仮称）在仙軽米会の創設に努め、都市交流や移住対策等の活性化を図ること。

令和7年度から検討

（仮称）在仙軽米会設立に向けて現地での打合せ等に係る旅費を計上した。

現在ふるさと会は、在京軽米会、久慈軽米人会などがあるが、町出身者が多くいるとされる宮城県仙台市を中心にふるさと会の立ち上げを検討していく。



昨年度開催した在京軽米会集合写真

⑦DX推進を積極的に進め、特に若い人たちのニーズに合わせた情報発信に努め、町の施策等の町民理解の拡大を図ること。

継続して実施

行政手続きのオンライン化にて町民の利便性向上を図る。

情報発信についても広報誌、かるまいテレビ、行政無線放送、各種SNSを活用し、幅広く、リアルタイムに情報を届けられるよう活用する。



軽米町公式LINE

人口減少7つの提言に 対する町の取り組み状況

①婚姻届出の際に、役場内に記念撮影コーナーを設置し、町全体でお二人の門出をお祝いする場づくりに努めること。

継続して実施

婚姻届けを提出する際に役場玄関にフォトフレームを設置しており、記念写真を撮影できるようにしている。

撮影した写真に関しては本人達の許可を得たものは広報などに掲載できればと考えている。



庁舎入口に設置されたフォトフレーム

②児童クラブの長期休業（夏季、冬季、春季）における小軽米、晴山地区の送迎タクシーを実施すること。

令和7年度から実施

現在児童クラブのある旧軽米幼稚園までの送迎タクシーは平日の学校終わりに実施している。

令和7年度からは長期休業時にも送迎タクシーを実施していく。



児童クラブの様子

③小中学校のスクールバス運行に関し、毎年度、当該保護者との意見交換の場を設け、実態に合ったスクールバス運行に努めること。

令和7年度から実施

令和7年度は、スクールバスを実際に利用している、各小中学校の児童・生徒がいる保護者からの意見や要望を聞きながら、今後も安全、安心なスクールバス運行に努める。



スクールバス

地域整備



雪谷川河川敷

雪谷川河川敷桜管理業務委託料 **121** 万円

問 令和7年度はどのあたりの桜を手入れするのか。

答 軽米浄化センターから上流の左岸側の作業を行う。

町道道路改良工事 **1 億 3,500** 万円

町内各路線を計画的に進めており、現在他の路線でも工事を行っている。

問 参勤街道線の現状について。

答 現在、沼地区から旧農協晴山支所までの区間を早期完成に向け整備・工事を進めている。



道路補修

町道舗装修繕工事 **660** 万円

安全・安心な道路環境の確保と沿道の生活環境の保全を図り、一般の交通に支障を及ぼさないよう道路の維持管理に努める。

問 現在ある道路の補修整備の状況はどうなっているのか。

答 町道の補修整備については、順次パトロールにより損傷の著しい箇所から穴埋め等を実施している。

ぎかいの視点

町道整備・桜の木の管理

町道の各路線は計画的に進め、維持管理は順次補修整備されている。町民から請願で出されている生活道路の整備も早急な対応が必要。

河川敷の桜はてんぐ巣病の管理で今年も見事に咲いた。今後軽米町に訪れる観光客を桜の名所として楽しませてくれると思う。

総務・政策

町村合併70周年記念事業 **112** 万円

問 70周年記念として記念誌などは発行しないのか。

答 70周年での記念誌の発行は考えていないが、町の広報誌の特集号といった形などは検討する。



60周年記念特別号



ふるさと納税返礼品

ふるさと納税推進事業 **1,851** 万円

問 返礼品が少ないと思うがどうか。

答 毎年新商品の追加を随時行っている。令和6年度も追加し返礼品の数は158点となった。

空家等活用

推進事業費補助金 **170** 万円

問 この予算はどのように使うのか。

答 空き家バンクに登録された物件の家財道具の処分やリフォーム費用に対する経費を補助するもの。環境整備は経費のうち10/10で上限額は10万円。リフォーム工事に関しては1/3以内で50万円を上限額としている。



空き家バンクに登録されている物件

産業振興・ 商工観光



令和6年度のプレミアム付き商品券販売チラシ

軽米町商工会補助金 **1,807** 万円

うちプレミアム付き商品券
発行事業費 **700** 万円

物価高騰の影響下にある地域経済の活性化と町民支援をするため、軽米町商工会や軽米ショッピングカード会と連携し「プレミアム付き商品券」の発行を継続するもの。

問 発行枚数は令和6年度と同じくらいか。

答 令和6年度は、4,800セットで5万2,800枚であった。令和7年度は、5,000セットで5万5,000枚の予定である。



軽米重種馬市場・春市場

岩手県馬事振興会会費 **4** 万円

問 馬産地活性化プロジェクトと岩手県馬事振興会は関連性があるのか。

答 馬産地活性化プロジェクトは町の地域おこし協力隊の募集であり、岩手県馬事振興会とは関連しない。

ぎかいの視点

南部駒・馬産地軽米

4月上旬が近づくと農用馬の競市が楽しみである。県内外からのファンや関係者がにぎわいを見せる一日である。この風景が何年続くのだろうと危惧する。今年度地域おこし協力隊の中で馬産振興に関わる人を募集するという。当町の馬産消滅を招かないよう淡い期待を抱かずにはいられない。

軽米メモリアルブリッジ
床版張替改修工事 **4,633** 万円

問 軽米メモリアルブリッジの修繕をするとのこと。森と水とチューリップフェスティバルに影響はないか。

答 チューリップ園の開園時期とはずらして修繕したいと考えている。

雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
消耗品費 **546** 万円

軽米町産業開発に雪谷川ダムフォリストパーク・軽米の維持管理業務を委託している。

問 チューリップの球根購入費用はどこに含まれているのか。

答 チューリップ球根購入費については消耗品費546万円に計上している。



雪谷川ダムフォリストパーク・軽米 チューリップ園

ミレットパーク修繕料 **114** 万円

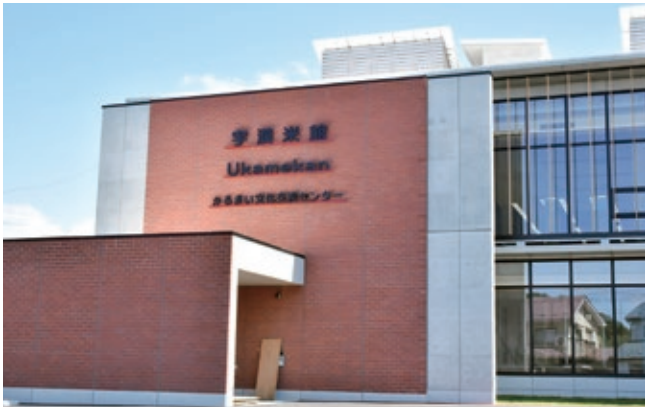
問 過去にそり滑りのできる場所があったが現在はコンクリートがむき出しになっており滑れない状況だが、そのほか今後について考えていることがあったら伺いたい。

答 そり遊びをする場所は人工芝がはがれてしまっている。そのほかにも年数が経っているため少しずつでも修繕をし長寿命化を図っていければと考えている。



ミレットパーク

教育



かるまい文化交流センター「宇漢米館」

宇漢米館イベント開催
業務委託料 **550** 万円

問 どのようなイベントを開催しようと
考えているのか。

答 現在予定しているのはクラシックコ
ンサートや日本の古典的な楽曲の演奏会
などを考えている。



民生委員

民生委員推薦会

問 民生委員推薦会とはどのようなもの
なのか。

答 民生委員推薦会とは、町が設置する
機関で、3年に1度の改選期や欠員が
生じた際に民生委員の候補者を審査・推
薦する会議である。令和6年度は任期中
に亡くなられた方がおり開催した。

仮設トイレ設置費用 **33** 万円

問 仮設トイレの設置場所はどこを予定
しているのか。要検討

答 ハートフル・スポーツランドのパー
クゴルフ場と多目的広場、第2野球場
に設置を予定している。



ハートフル・スポーツランドの多目的広場

出産子育て応援事業 **400** 万円

問 出産子育て応援はどのような支援を
行うのか。

答 妊娠期に5万円、出産後に5万円
を交付する事業。



母子健康手帳

ぎかいの視点

制服補助

令和7年度から軽米高校の制服補助
が出るのが決まった。今後、入学生
徒増の効果が表れることを期待する。
さらに運動着の助成も考えてはどう
か。

音更町姉妹町締結40周年記念事業 **88** 万円

音更町との姉妹町締結40周年の記念
事業として記念品を作成するもの。
また、互いの町を紹介する相互特別企
画展を開催するもの。

問 記念品は何を予定しているのか。

答 大川宇八郎が音更町に入植してから
の年表を記した、児童が使えるような学
用品を検討している。

ぎかいの視点

支えあう町づくりのために

軽米町には「軽米町 保険・介護・
医療・福祉サービスガイドブック」が
あるが、軽米町ホームページを検索し
てもすぐには出てこない。
サービスを利用したい高齢者や子育
て世代の方が、知りたい情報を簡単に
入手できるようにホームページの改良
や情報発信の強化をのぞむ。

予防接種助成金 **698** 万円

問 令和7年度はコロナの予防接種の
補助金は無くなるのか。

答 65歳以上の方については令和6年
度と同様補助をするが、妊産婦、子供に
ついては補助を実施しない。



一般質問とは
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
・質問者の順番は通告した順番で行われます
・時間の制限は60分です

第14回定例会 8人が登壇 一般質問



- ・AIを駆使したデマンド交通
- ・買い物支援



- ・農業者の担い手育成施策推進



- ・空き家対策
- ・インフラ整備



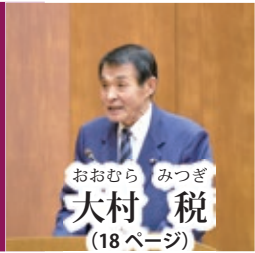
- ・軽米中学校校舎整備
- ・スクールバスの運行
- ・70周年記念事業



- ・町の移住、若者定住対策



- ・子育て支援ピヨピヨ広場
- ・防災センターの公衆トイレ



- ・軽米町における農業を取り巻く環境への認識と対策



- ・県への損害賠償事件
- ・情報無線での催し案内
- ・公衆浴場の検討状況

掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。



町議会HP
QRコード

人口減少・少子化対策調査特別委員会 幹事会視察研修レポート in 仙台市

婚活支援は企画力と継続が重要 みやぎ青年結婚サポートセンター

人口減少・少子化対策調査特別委員会の幹事会（6委員）は、3月27日、仙台市の「みやぎ青年婚活サポートセンター」を視察し、婚活支援について、企画力と継続の重要性を認識しました。



みやぎ青年婚活サポートセンターのスタッフと幹事

当センターは、一般財団法人「宮城県青年会館」が行う結婚相談所で、活動内容は、みやぎPISA（ピサ）会員になつてもらい、理想のパートナーに巡り会える機会を提供します。

共同作業が人気

婚活支援事業のJOYふるパーティーは、毎月市町村や企業等との共催などを含めて年15回実施しています。

婚活イベントは、

企画力で参加者数に増減があるとともに、継続的な開催が重要です。

クッキング婚活は、企業との共催で、講師や材料などを提供いただき、男女が一緒に作って、一緒に食べて交流でき、好評です。

ほかにいちご狩りやアロマ、フラワーアレンジメントなども人気が高いとのこと。

「婚活支援イベントは、継続が大事、ひとりの参加者の重い腰を上げるには時間がかかります」と。継続しての開催が成婚率向上へつながることを指導いただきました。

住民レベルでの 受入れ体制が必要 カメイアリーナ仙台を視察

3月28日は、バレエボール漫画「ハイキュー!!」の舞台「カメイアリーナ仙台」（仙台市体育館）を視察しました。

市民スポーツボランティアの案内で、住民レベルでの受け入れ体制の必要性を認識しました。

住民活動の強化

町でのファン受入れのおもてなしには、住民ボランティアの活動が不可欠であることを感じさせられました。

仙台市の活動例を参考にしながら、当町としての受入れ体制を強化したいものです。



住民ボランティアによる説明



交通の利便性向上

問 町民の移動手段・利便性の向上を

町長 状況調査を行い議論していく

問 町民の足確保、利便性の向上について施策の必要性をどのように認識しているか伺う。

【町長】 町民バス、コミュニティバスを含め今後の持続的な公共交通体系について総合的な検討を進め、地域の実情に合った運行とするため、令和7年度においては、路線ごとの利用状況や住民ニーズ等を把握するため、現況調査等を実施することとしている。

その調査結果を踏まえ、今後の町全体の公共交通の在り方を検討するため、東北運輸局、県、警察署、公安委員会などの行政関係者の他、バス、タクシーなどの運送事業者、利用者の代表者などで構成する軽米町地域公共交通活性化協議会で議論していく。

問 当町においても、デマンド交通システムの考えはないか伺う。

【町長】 デマンド交通とは、利用者のニーズに合わせて柔軟に運行する交通システムのことで、通常の路線バスのように、定められたルートを決まった時間に走行するのではなく、利用者の予約等に合わせて運行されるものである。近年、他の市町村でも導入が進め



町民バス

問 買い物の支援策の考えは

町長 関係機関と連携し調査研究する

問 日用品などの生活物資の購入が困難な方を対象として移動販売をしようか。

【町長】 現在だけの方が買い物支援を必要としているかの調査を実施し、支援を必要としている人数や地域分布、町内で利用できる支援サービスの実態等の把握が必要と考え、支援が必要であ

られており、中にはAIを活用し、予約状況によって最適な経路を決定し効率的な運行を行う取り組みを行っているという。デマンド交通の導入も視野に入れ、新技術の活用も積極的に検討する。

これらの取り組みを通じて、住民の皆様が安心して快適に暮らせる地域社会の実現を目指す。

し、より効率的で利便性が高く、今後も持続可能な公共交通システムを構築する。



移住・定住者増加を目指して

問 若者定住促進プロジェクトの取り組み状況は

町長 移住者への支援と広報を強化



移住フェア



旧青少年ホーム

問 若者定住促進プロジェクトの進捗状況について。

【町長】 今年度の重要課題と位置付け、政策推進課を中心とした各課横断プロジェクトとして取り組んでいる。現状と課題の洗い出し、結婚、住宅環境、産業振興、子育て支援、教育環境等の中で、移住・定住促進に向けた相談体制として、移住コーディネーター3名を配置し、移住・定住希望者からの問い合わせや、疑問、不安に迅速に対応するとともに、来町した方への案内等を行っている。

定住に結びつく方策の充実を検討するとともに情報発信の強化、施策の実施に必要な財源確保等について検討を進める。

令和7年度の新規事業としては、若者定住のための住環境整備として萩田地区の旧青少年ホーム跡地に住宅整備関係予算を一般会計予算に計上している。

問 移住・定住の取り組みは

町長 積極的なPRを行う

問 移住、定住対策の取り組み状況について。

【町長】 移住検討者向けの取り組みとして移住候補者を対象とした北いわて移住体験ツアーへの協力や首都圏での移住フェアなどに積極的に参加し町のPRに努めている。

情報発信の強化として移住定住希望者向けの「かるまいぐらしガイドブック」の作成や6年度に着任した地域おこし協力隊による生活情報等を移住者目線で発信するウェブサイト立ち上げ、SNS等を活用した情報発信を行っている。

地域おこし協力隊についで令和7年3月現在6名の隊員が活動している。それぞれの経験と能力を生かした取り組みをサポートしながら定住につながるよう進めている。子育て支援環境の充実として、6年度から1歳までのおむつ支給事業を開始するなど施策の拡充を図るとともに保険料、医療費、給食費の無償化を実施している。

かるまいぐらしのウェブサイト



農業従事者への支援

問 農業の担い手施策への自己評価

町長 効果的な支援制度を構築する



地域農産業

農業者数は、15年間で584人減少している。

農業者の担い手政策は、町内10地区で策定した「地域計画」の目標達成に向けて「認定農業者」を担い手の中心と位置付け、各種補助事業等の導入の支援を行っている。

認定農業者に認定されるには、町に對し、農業経営を行う経営体自らが「農業経営基盤強化促進法」に基づく「農業経営改善計画」「認定申請書」を提出し審査を受ける。計画には経営規模の現状に加え、経営の規模拡大、生産方式の合理化、経営管理の合理化、農業従事の態様の改善等、農業経営の改善に関する目標を記載。中でも経営規模については標準的な家族経営を想定

し、1経営体当たりの年間所得が、420万円を確保できる計画とする。

提出された計画が適当であると判断した場合、「認定農業者」へ認定し支援する。認定農業者は、平成27年12月末は190人、令和2年12月末は143人、令和7年2月現在で110人と減少している。

新規就農者の支援については、令和2年度から6年度の5年間の



田植え

実績となるが、国の農業次世代人材投資資金により3経営体の4人の方へ、「町自然のめぐみ基金」を活用した町単独の親元就農給付金で8人の方に支援した。

また、地域農業の担い手育成のため、地域おこし協力隊の募集を行い、ホップ、たばこの就農を目指すご夫婦2人が着任し、活動を開始している。

令和7年度には、地域農業の担い手育成に加え、馬産地活性化の取り組みに対する方の募集を行い、移住・定住を目標に新規就農へ導くための活動も開始している。

今後、効果的な支援制度を構築するとともに、地域おこし協力隊をはじめ多様な人材の活用を図っていく。

子育て支援

問 **ピヨピヨ広場の利用状況**

町長 町の実情に合ったサービスを検討する

問 前のピヨピヨ
広場と比較して
利用状況は。利用しや
すくなった点は。

【町長】 ピヨピヨ広場は、令和5年のかるま
い文化交流センターの
オープンに合わせて、
青少年ホームから移転

して運営している。移転後は土日を含む週5日間。時間は9時から5時まで拡充した。3歳児未満の利用が多い状況であるが、3歳児以上の利用も移転前より増加している。

開設時間の拡充により平日利用できない子などより幅広く利用しやすくなったと認識している。

【問】 中ではどんなことをしているのか。

【町長】 通常時の遊びは、運動遊びやお絵かき絵本の読み聞かせな

今後とも地域の子育て支援の拠点施設として利用者の皆様が安心して利用できるよう運営していく。

問 宇漢米館を利用する子育て中の親のためにピヨピヨ広場での一時預かりの考えは。



宇漢米館内ピョピョ広場

【町長】 地域子育て支援拠点事業として実施しており、子育て中の親子が気軽に集い、相

互交流や子育ての不安、悩みを相談できる場を提供するということを目的に運営している施設となっている。一時預かりを行うとなると、保育士等のスタッフの増員等課題があるため、実際にできるかどうかについては検討していく。

問 防災センターの公衆トイレを
更新する考えはあるか

町長 改修についても協議していく

問 防災センターの公衆トイレを使い勝手のよい近代的な公衆トイレにする考えは。

【町長】 防災センターの公衆トイレは、20年以上経過している。随時設備の軽微な修繕等を行いながら利用されてきた。今後とも、ト

問 高年齢の子供たちも遊べる屋内遊び場の設置についての考えは。

【副町長】 町内からも町場に公園が欲しいとの声も多数いただいております、それも含めて、できれば天気にも左右されずに遊べる、屋内型の遊び場を視野に入れて考えている。

の公衆トイレを
たはあるか
も協議していく
イレの清掃や点検を定
期的に行い、簡易な破
損などが生じた場合に
は、速やかに対応し、
洋式便器への更新や大
規模な改修について
は、県への要望と協議
を進め、使いやすく、
安全で快適に利用でき
るよう公衆トイレの環
境づくりに努める。



空き家の活用

問 空き家対策について

町長 空き家バンクの推進と活用を進める

空き家バンクの現状と今後の見通しについては、空き家バンクとは、空き家売りたい、貸したい所有者と、買いたい、借りたい希望者との橋渡しを担うもので、令和元年度から実施している。



破損した水道管の例

これまで、5件の登録があり2件が売買成

立し、1件が取り下げとなったが、現在2件の物件登録があり、情報はホームページで公開している。

制度普及のため、広報、ホームページ等で手続き方法や利用方法、物件のリフォーム、家財の処分等に対する助成制度と併せて周知を進めており、今後も空き家バンク登録の増、制度のPRに努めていきたいと考えている。

未給水地区整備計画
水道管の敷設替え状況

町長 平成21年度策定の軽米町水道事業基本計画において立案しているところだが、町の上下水道事業の喫緊の課題として老朽化している既存施設の更新を優先している状況であり、未給水地区の整備については、費用対効果等を考慮した場合、至っていない。

当町では、約195キロの管路を管理している。水道管路の法定耐用年数が40年となっており、耐用年数を超えている割合は、送水管約11%、導水管約

10%、配水管約11%となっている。平成29年より主に山内、観音林地区の老朽管対策及び耐震化事業を進めている。インフラの点検として、道路パトロール時に下水道管路、上下水道管路上の路面の亀裂や沈下等の確認を実施している。今後においては、中長期的な更新需要及び財政収支見通しを検討し、更新等を計画的に実行し、持続可能な水道事業を実現していくためにも、事業費の平準化を図りながら効率的かつ効果的に進めたい。近隣する市町村と比較した場合、ほぼ同額の料金となっている。

問 インフラ整備について
既存水道施設の更新と点検を行っている

町長



農業の課題

問 農業を取り巻く環境への認識と対策

町長 町内でも農業者が大幅に減少しているが、担い手の確保と支援を継続していく



農地写真

農業を取り巻く担い手不足などの課題に対する状況を認識しているのか伺う。

町長 本町の就業者数は、国勢調査から、昭和60年の7029人から、直近の令和2年の調査では4448人と2581人減少している。産業別に見ると農業、林業、漁業の第一次産業は、3400人から1167人へ、建設、製造などの第2次産業は1696人から1151人へ減少、サービス業などの

第3次産業は1933人から2130人へ増加している。農業に絞ると、3204人から1101人へと大幅に減少し、減少率は65.6%となっている。

これは、農業者の高齢化、後継者不足と併せて、第3次産業への流動化が原因の一つと考えられる。

人手不足については、全国的に言えることではあるが、特に地方での減少は顕著であると認識している。

新たな担い手の確保対策として、これまでの対策内容と就農実績について伺う。

町長 担い手の確保対策としては、国の施策においても支援対象者を絞り、農業経営に意欲的な「認定農業者」さらに「地域計画」



スマート農業の例

に位置付けられた方々を支援対象者としている。町の支援対象者も同様に各種補助事業等により支援する。

新規就農実績については、令和2年度から6年度の5年間の実績となるが、国の農業次世代人材投資資金により、3経営体の4人の方、町単事業の親元就農給付金で8人の方に支援を行ってきた。

今後においても国事業、町単事業により、新規就農の支援を継続していく。

軽米町におけるスマート農業の取り組み状況、具体的内容について伺う。

町長 町では、これまで新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和3年度にスマート農業支援事業を創設、6団体に對して田植機、コンバイン、トラクターなど、スマート農機導入の支援を行っている。

ICTやIoT等の情報通信技術を活用したスマート農業の導入により、農作業の効率化、身体負担の軽減、合理化による生産性向上が期待できることから、関係機関と連携してスマート農業普及に向けて取り組むとともに、国、県の事業を活用したスマート農機導入の支援を進めたいと考えている。



中学校の設備更新

問 校舎の改修・改築計画はあるか

町長 改修が必要な部分は行いつつ検討していく



軽米中学校

問 校舎の塗装や洋式トイレ化、特別教室に冷暖房が必要ではないか。校舎の改築計画はあるか。

町長 校舎の経年劣化が進んでいることは認識している。LED化を進める際に塗装等のリフォームが必要か検討したい。冷房は優先度の高い場所から順次対応していく。洋式トイレは19基設置している。校舎改築計画は現在ないが、出生数や財政状況を踏まえて考える。

問 スクールバスを高校生や地域住民も利用できないか。通学距離による乗車を変更できないか。

町長 希望する高校生にはスクールバスに乗り通学できる運用としてきており、令和6年度については、21名が利用している。バスへの一般住民の

混乗は学校の行事や長期休校などで不定期運行となるため、調整が困難と考える。

通学距離は国の基準であるが通学時の安全面について心配する保護者もいると思うので、基準の緩和や地域に合った運行について国に働きかけたい。

問 町のイベントに参加できるように土日も町民バスを運行できないか。

町長 令和7年度は各路線の現況調査等を実施する。調査結果を踏まえ、今後の公共交通の在り方を検討するため、軽米町地域公共交通活性化協議会で議論を深める。

問 今後のバスの運行と利用について

町長 既存の路線を調査し議論する

問 70周年記念事業の内容

町長 式典での表彰などを予定

問 合併70周年記念事業には、豪雨災害・山林火災の災害での教訓、中学校が1校、小学校は3校になったことを振り返り、町民がこれからのことを考える機会になるような事業を望むが、いかがか。

町長 町としては、記念式典の開催を予定している。詳細については、今後検討を進める。

しており、様々な分野で町勢の発展に尽力された方への表彰や軽米町出身者や本町にゆかりのある方を講師に記念講演会の開催などを柱に計画している。詳細については、今後検討を進める。



県への損害賠償請求事件

問 和解指針により控訴もあるか

町長 内容を慎重に判断し対応する



令和3年6月に行った宇漢米館建設工事の現地調査の様子

問 岩手県への損害賠償請求事件の裁判のその後の進捗状況と今後の裁判の見通しについて伺う。

町長 昨年の9月以後、10月12月の2回オンラインで開催された。次回には、裁判所としての和解指針の提示および指針に対する双方との協議について言及があった。今後は、裁判所の和解指針の内容により、町として慎重に判断しながら対応したいと考えている。

問 次回はいつ行われるのか。

副町長 3月12日午後2時の予定。

問 和解の内容によつては控訴もあるのか。

町長 これまでの2年間で互いの主張も出尽くしており、和解できなければ、最悪の場合は、控訴もありうる。

問 控訴も含めて、町民への説明をすべきだと思うが。

副町長 前向きに考えたい。

問 情報無線での催し案内を

町長 広報全般を積極的に活用

問 かるまい文化交流センターの

問 情報無線を活用して、土、日曜を含めて施設の催し案内をしてはどうか。

町長 施設全体の管理運営は教育委員会事務局であるが、多目的複合施設であり、子育て支援センターなどで事業担当課がそれぞれを所管し運営している。

問 公衆浴場の検討状況は

町長 継続して調査検討する

問 町公共施設等総合管理計画の

問 公衆浴場整備の検討状況は。

町長 老人福祉センターの維持管理と合わせ、持続可能な公衆浴場の実現方法の検討を進めている。現時点では、自治体での管理運営は厳しいが、継続して調査検討していく。

番号等	案件内容	本会議の採決結果
請願陳情⑦	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	採 択 (全員賛成)
発議案①	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書	可 決 (全員賛成)
発議案②	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	
	議員派遣の件〔令和7年度の議員派遣を認めるもの〕	可 決 (全員賛成)
	人口減少・少子化対策調査特別委員会・議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査 〔次の定例会までの間、特別委員会の調査活動を認めるもの〕	
	委員会の閉会中の所管事務調査 〔次の定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの〕	

討 論

議案第10号 令和7年度軽米町一般会計予算

反 対

物価高騰対策が足りない

物価高騰が町民の暮らしに影響を与えており、保険料の増加など改悪が進められてきた。農業者への緊急支援を実施する必要があるのではないか。農家の飼料費なども高騰しており早急に対策が必要なのではないか。町独自の生活困窮世帯への支援策が必要。江刺家 静子 議員

賛 成

期待に応えられる予算

町税などの自主財源も確保しながら、議会提言を盛り込んだ、町政と議会が、町民の期待に応えた予算といえるのではないか。町村合併70周年記念事業も予定されている他、今後具体化に向け検討すべき内容も含まれている。70周年を契機に人口減少、少子化の歯止めとなることを祈念し賛成とする。中村 正志 議員

賛 成

若者住宅などに固い決意を感じる

令和7年度の予算は自主財源の確保に努めるとともに事業の達成度や費用対効果の検証など事業の見直しを行い福祉の重点配分に努めている。人口減少や、少子高齢化の急速な進展に対応するため、移住定住事業として新たに若者定住住宅整備事業の予算を確保しているなど、各種施策に固い決意が感じられることから賛成する。細谷地 多門 議員

議案第11号 令和7年度軽米町国民健康保険特別会計予算

反 対

国保、子ども均等割の免除を

国民健康保険の所得割、資産割、均等割、平等割という保険料算定方法があり、均等割は法律で必ず徴収することとなっているが、物価高騰への対策として18歳までの子どもへの均等割を減免している市町村もあるため、軽米町でも免除して欲しい。江刺家 静子 議員

議案第13号 令和7年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算

反 対

後期高齢者の保険制度に反対

後期高齢者医療保険制度の保険料の見直しが2年ごとに行われている。年齢で切り分けたものであり、保険料が増え続ける前提の制度となり、その構造にも問題がある。そのためその制度に向け編成された議案について反対する。江刺家 静子 議員

第13回臨時会

1月28日開催
臨時会開催結果

第13回臨時会は1月28日に開催され、一般会計補正予算の計2件を全員賛成で承認しました。物価高騰の対策として町民への商品券の配布についてなど慎重な審議が行われました。

物価高騰対応 重点支援給付金	3875万6千円	承認
物価高騰対策 生活者支援事業費	4616万8千円	可決

＜3月定例会＞採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて 〔本田芳廣氏＝観音林南、再任〕	同 意 (全員賛成)
同意案②	固定資産評価審査委員会の補欠委員の選任に関し同意を求めることについて 〔川原木純二氏＝車門、新任〕	
同意案③～⑫	農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて 〔③西館聡氏＝蛇口、④下谷地敦雄氏＝下谷地渡、⑤木村正司氏＝荒町、⑥笹山結実男氏＝新井田、⑦安田正一郎氏＝上河南、⑧川原木芳藏氏＝車門、⑨畑林悦男氏＝屋敷、⑩福田光雄氏＝上野場、⑪荻谷恭子氏＝荻敷山、⑫鶴飼治彦氏＝鶴飼〕	
諮問①	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて 〔中野武美氏＝下河南、再任〕	適 任 (全員賛成)
諮問②	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて 〔川島康夫氏＝上増子内、新任〕	
議案①	軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 〔育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正をするもの〕	可 決 (全員賛成)
議案②	軽米町企業版ふるさと納税基金条例 〔地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業の財源に充てるため基金を設置するもの〕	
議案③	軽米町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例 〔事業の健全な財産運営の財源に充てるため、所要の改正をするもの〕	
議案④	軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例等の一部を改正する条例 〔被保険者証が廃止されたことに伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑤	軽米町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 〔県に準じて占用料の額を改定しようとするもの〕	
議案⑥	軽米町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 〔生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴い、所要の改正をするもの〕	
議案⑦	令和6年度軽米町一般会計補正予算（第9号） 〔4698万円減額し歳入歳出総額73億6387万8千円〕	
議案⑧	令和6年度軽米町国民健康保険特別会計予算（第2号） 〔848万8千円減額し歳入歳出総額10億6014万2千円〕	
議案⑨	令和6年度軽米町水道事業会計補正予算（第3号） 〔資本的収入49万5千円増額し、6910万5千円〕	
議案⑩	令和7年度軽米町一般会計予算 〔歳入歳出総額70億7000万円〕	
議案⑪	令和7年度軽米町国民健康保険特別会計予算 〔歳入歳出総額10億2575万2千円〕	可 決 (賛成多数)
議案⑫	令和7年度軽米町介護保険特別会計予算 〔歳入歳出総額1114万8千円〕	可 決 (全員賛成)
議案⑬	令和7年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算 〔歳入歳出総額1億3110万円〕	可 決 (賛成多数)
議案⑭	令和7年度軽米町水道事業会計予算 〔収益的収入3億2342万2千円、同支出3億2278万3千円 資本的収入5771万8千円、同支出3億309万8千円〕	可 決 (全員賛成)
議案⑮	令和7年度軽米町下水道事業会計予算 〔収益的収入1億6457万1千円、同支出1億6647万5千円 資本的収入5880万円、同支出5880万2千円〕	
議案⑯	令和6年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 〔602万4千円追加し歳入歳出1億2910万1千円〕	採 択 (賛成多数)
請願陳情⑥	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願について	採 択 (全員賛成)

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ③⑦



しょうへい
翔平 さん
あやか
礼佳 さん

仙台市出身
長男・長女の4人家族

礼佳さん

千春ちゃん (2歳)

惇人くん (6歳)

翔平さん

ヤマタケル

地域おこし協力隊 として軽米へ

☞ 軽米町を知ったきっかけは？

ホップや葉タバコなどの作物の栽培に興味があり、地域おこし協力隊として募集していることが知るきっかけになりました。

☞ 軽米町に来る前や来てからの印象は？

来る前は人口が少ないと聞いていて、お店などの不安がありました。が、町内で生活に必要な物などはそろっているので安心しました。

また、学校の建物が比較的新しく感じました。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどを寄せてください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

子育て支援

☞ 軽米町の良いところは？

子育てについても給食費などの支援制度があることがうれしいです。遊ぶ場所も広いところが多いと思いました。

軽米に必要なもの

☞ 他市町村の方が良いところは？

飲食店が少ないと感じました。少し離れたところに行く必要がありますが、町内にもう少しあればと思いました。

☞ 今後の軽米町に望むことは？

もっと観光客を受け入れる体制があればいいと思います。観光客へのアクションをかける事ができれば地域おこし協力隊として何かできるかと思いました。

かるまい
議会だより

発行日 令和7年5月14日発行 (No. 241)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

せつ 誠典 康志 隆
村山 中斐 中村 茶
田上 田甲 中茶
委員長
委員
副委
議会報編集常任委員会



軽米町議会だよりはこちらから